

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-100998

⑤ Int. Cl.⁴A 24 F 13/06
A 24 D 3/06

識別記号

庁内整理番号

8114-4B
7235-4B

④ 公開 昭和61年(1986)6月27日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑥ 考案の名称 脱臭剤入りパイプフィルター

⑦ 実 願 昭59-187700

⑧ 出 願 昭59(1984)12月10日

⑨ 考 案 者 美 野 芳 隆 松戸市馬橋町319の3番地

⑩ 出 願 人 美 野 芳 隆 松戸市馬橋町319の3番地

⑪ 実用新案登録請求の範囲

- 1 アスコルビン酸・鉄化合脱臭剤を付着した繊維体1で、パイプ用のフィルター2を形成してなる脱臭剤入りパイプフィルター。
- 2 アスコルビン酸・鉄化合脱臭紙1aで形成したフィルター2aに、小孔3を無数に設けた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。
- 3 アスコルビン酸・鉄化合脱臭紙1bを任意の数に巻いて、フィルター2bを形成し、その前後に合成繊維4を接着させた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。
- 4 アスコルビン酸・鉄化合脱臭合成繊維1cで形成したフィルター2cの周囲をアルミニュー

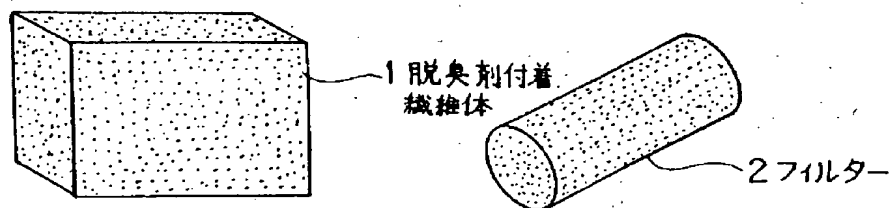
ム箔5で巻いた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。

図面の簡単な説明

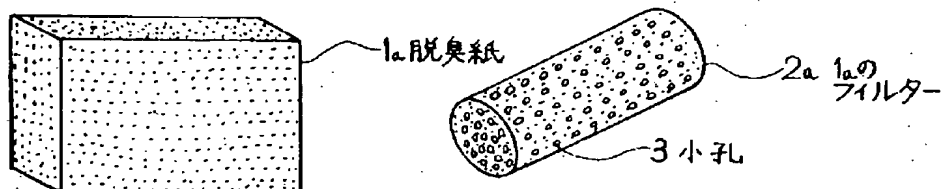
第1図は本考案の素材と第1実施例の斜視図、第2図は本考案の素材と第2実施例の斜視図、第3図は本考案の素材と第3実施例の斜視図、第4図は本考案の素材と第4実施例の斜視図、第5図は本考案使用のパイプの一部切断斜視図。

1…脱臭剤付着繊維体、2…フィルター、1a…脱臭紙、2a…1aのフィルター、3…小孔、1b…薄い脱臭紙、2b…1bのフィルター、4…合成繊維、1c…脱臭合成繊維、2c…1cのフィルター、5…アルミニウム箔、6…パイプ。

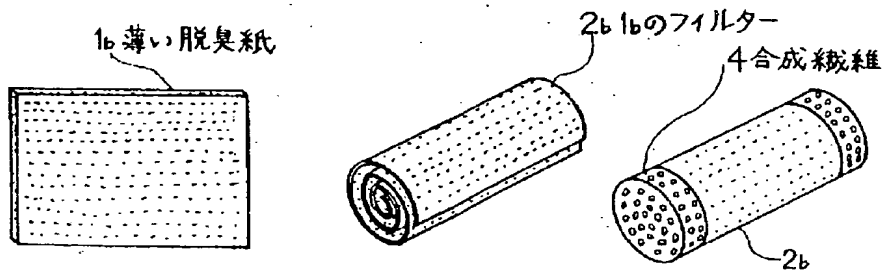
第1図



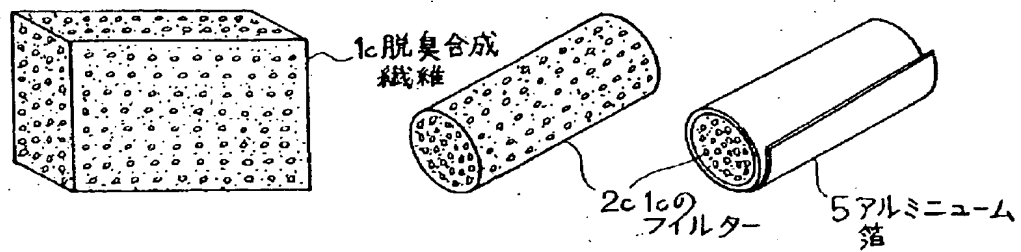
第2図



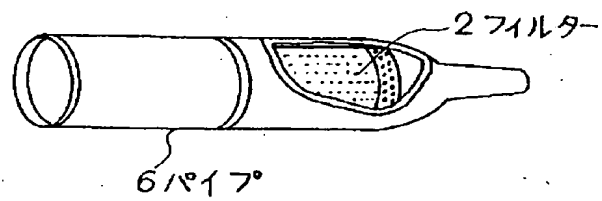
第 3 図



第 4 図



第 5 図



公開実用 昭和61- 100998

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-100998

⑤ Int. Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和61年(1986)6月27日

A 24 F 13/06
A 24 D 3/06

8114-4B
7235-4B

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 脱臭剤入りパイプフィルター

⑯ 実 願 昭59-187700

⑰ 出 願 昭59(1984)12月10日

⑱ 考 案 者	美 野	芳 隆	松戸市馬橋町319の3番地
⑲ 出 願 人	美 野	芳 隆	松戸市馬橋町319の3番地

明 細 書

1. 考案の名称 脱臭剤入りパイプフィルター
2. 実用新案登録請求の範囲
 1. アスコルビン酸・鉄化合物脱臭剤を付着した繊維体(1)で、パイプ用のフィルター(2)を形成してなる脱臭剤入りパイプフィルター。
 2. アスコルビン酸・鉄化合物脱臭紙(1a)で形成したフィルター(2a)に、小孔(3)を無数に設けた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。
 3. アスコルビン酸・鉄化合物脱臭紙(1b)を任意の枚に巻いて、フィルター(2b)を形成し、その後合成繊維(4)を接着させた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。
 4. アスコルビン酸・鉄化合物脱臭合成繊維(1c)で形成したフィルター(2c)の周囲をアルミニウム箔(5)で巻いた、実用新案登録請求の範囲第1項記載の脱臭剤入りパイプフィルター。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案は、アスコルビン酸と鉄化合物の強力吸着脱臭剤利用のパイプフィルターに関するものである。

(従来 の技術)

タバコの害は、ヤニヤタールであるが、タバコを吸ったあと、このヤニヤタールの臭さがいつまでも口の中に残り、不快きわまりなかった。ヤニヤタールを取り除くフィルターはいろいろあったが、このにおいまで取るものはなかった。

(考案が解決しようとする問題点)

従来から、レモンや柑橘類にあるビタミンCが作用して、臭い匂いを吸着することは知られていた。最近、これを使用した強力脱臭剤(紙、布、合成繊維など)(PAT・P)があり、この脱臭剤を利用して、ヤニヤタールの臭さを取るパイプのフィルターを考案した。

(問題を解決するための手段)

この考案の構成を図面において説明してゆくと

第1図の実施例に示すように、アスコルビン酸（ビタミンCの粒子）と酸化鉄の粒子を化合した脱臭剤の繊維体（紙，合成繊維など）(1)を利用して，パイプのフィルター(2)の形に形成する。

（作 用）

以上の構成よりなる，本考案を使用するには，従来のパイプフィルターと同じく，パイプに入れて使用する。ヤニヤタールによってフィルターが汚れたら，再び新しいフィルターと取りかえる。本考案のフィルタ入りパイプでタバコを吸うと，ヤニヤタールが取れ，その臭さも取り除かれる。

（実 施 例）

第2図は，本考案の第2実施例を示す斜視図である。アスコルビン酸・鉄化合物脱臭紙(1a)でパイプ用フィルター(2a)を形成し，タバコの煙の通る小孔(3)を，中に無数に設ける。

第3図は，本考案の第3実施例を示す斜視図である。本考案で使用する脱臭紙(1b)の薄手のものを使用し，フィルターの大きさに作り，3，4回巻いて，ほぐれないように，前部と後部に円柱形の

スポンジなどの合成繊維(4)を接着し、フィルター(2b)に形成する。

第4図は、本考案の第4実施例を示す斜視図である。アスコルビン酸・鉄化合物脱臭合成繊維(1c)を使用し、フィルター(2b)を形成する。このフィルターをパイプに入れやすいように、アルミニウム箔(5)で巻いておく。

(考案の効果)

本考案は、活性炭の約百倍という強力脱臭剤(1)を使用するので、その強力な吸着脱臭作用によって、タバコのヤニやタールを取り、その不快なおいも取り除き、タバコを吸った後、口の中のタバコ臭さがなくなり、タバコがうまいタバコに早変わりする。

近年の医学の進歩に共なって、このヤニやタールそのものだけでなく、そのにおいまで、肺癌や胃癌の原因となることが立証されている。本考案の効果は、このにおいを取り、癌予防にもつながるすばらしい効果を発揮することになる。

本考案使用のアスコルビン酸(ビタミンC)の粒

子)は、活性炭よりもその粒子が何百倍も密なので、不快なにおいをことごとく吸着してしまうことは、既の実証されている。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の素材と第1実施例の斜視図

第2図は本考案の素材と第2実施例の斜視図

第3図は本考案の素材と第3実施例の斜視図

第4図は本考案の素材と第4実施例の斜視図

第5図は本考案使用のパイプの一部切断斜視図

(1)脱臭剤付着繊維体 (2)フィルター

(1a)脱臭紙 (2a) (1a)のフィルター (3)小孔

(1b)薄い脱臭紙 (2b) (1b)のフィルター

(4)合成繊維 (1c)脱臭合成繊維

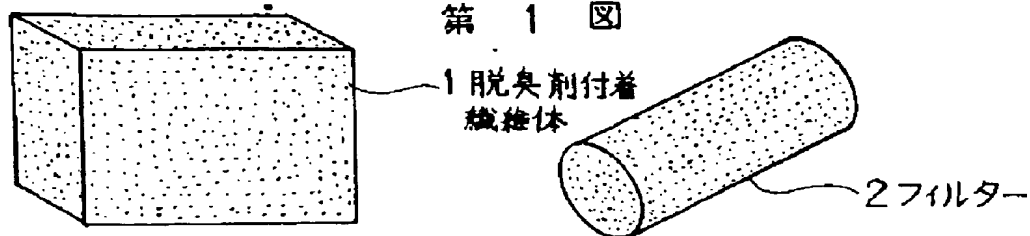
(2c) (1c)のフィルター (5)アルミニウム箔

(6)パイプ

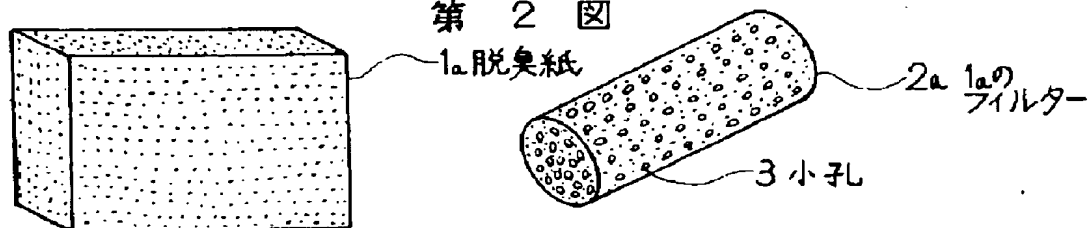
実用新案登録出願人 美 野 芳 隆

図 面

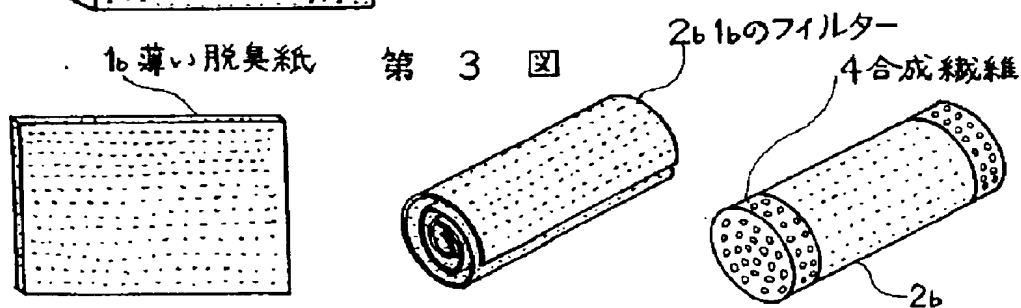
第 1 図



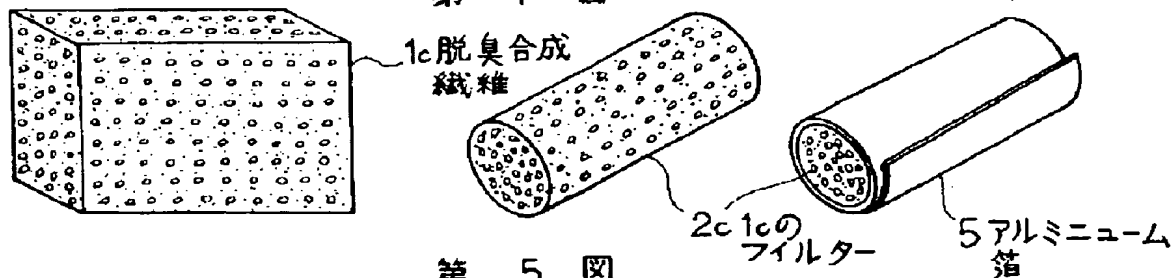
第 2 図



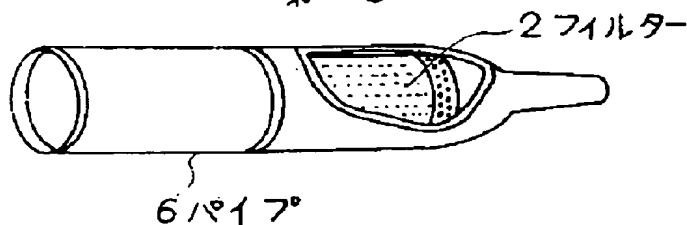
第 3 図



第 4 図



第 5 図



1009